



# 第1章

---

20年間のあゆみ



●平成13年度（2001年度）

合併の経過

- 平成2年11月1日 ▼ 中野市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、飯山市、豊田村、栄村の7森林組合で「北信地区森林組合広域化推進研究会」が組織され、合併の必要性、合併組合の目指すべき姿などの研究が開始されました。
- 平成12年4月12日 ▼ 研究会の成果を受け、栄村森林組合を除く6組合の広域合併を推進する「北信地区森林組合広域合併推進協議会」が設置され、合併するための条件整備等についての協議が開始されました。
- 平成13年6月26日 ▼ 合併推進協議会において、6組合の合併が決まり、合併予備契約の調印式を行うこと、合併組合の名称を「北信州森林組合」とすることが決定されました。

平成13年7月6日 ●合併予備契約調印式



合併予備契約の調印式が飯山市「ホテルほていや」において、北信地方事務所長、関係6市町村長立会いのもと、6組合長により行われました。調印式後、同会場にて盛大な祝賀会が行われました。

- 平成13年8月3日～8日 ▼ 6組合の臨時総会が開催され、賛成多数で合併並びに合併組合の事業経営計画書等が承認されました。
- 平成13年9月26日 ▼ 第1回北信州森林組合設立委員会が開催され、設立日の決定及び定款、規約の承認などが行われました。

主な出来事

長野県林業関係  
コンクール受賞

▲ 間伐の部  
山ノ内町 佐野区  
県知事賞



ネットワーク構築

合併組合の業務効率向上のため、ネットワーク構築により情報の一元化を行い、組合情報の共有や組合員サービスの向上を図りました。



- 6月 6組合の合併が決まり、合併組合の名称を北信州森林組合に決定
- 7月 合併予備契約調印式
- 10月～11月 本所改修工事
- 12月 北信州森林組合設立・開所式  
小山邦武初代組合長就任

■北信州森林組合

- 平成13年10月25日 ▼ 第2回北信州森林組合設立委員会が開催され、組織機構、諸規定の決定等が行われました。
- 平成13年11月7日 ▼ 第3回北信州森林組合設立委員会が開催され、役員報酬の決定、合併組合の財産目録及び貸借対照表の承認等が行われました。
- 平成13年11月16日 ▼ 第4回北信州森林組合設立委員会が開催され、合併組合の人事等が決定されました。初代代表理事組合長に小山邦武氏、副組合長に中山茂樹氏、富井喜義氏が選出されました。

●開所式・合併祝賀会



平成13年12月1日、本所(飯山市新町庁舎)にて、北信州森林組合開所式が行われました。6市町村の森林組合が一つとなり、中核的な森林の担い手を目指し、第一歩を踏み出しました。合併により、組合員数6,507人、組合員経営森林面積33,539haとなりました。

開所式終了後、飯山市びっくわんホールにおいて、来賓、役職員等80余名が出席し、組合発足祝賀会が盛大に開催されました。



パソコン教室

平成13年4月より、合併に先立ち週1回、北信地方事務所林務課職員による「林務課夜間学校」が12回開催されました。

職員・技能職員の希望者が、コンピューターの基本操作から電子メールによるファイルの送信等、事務処理に必要な内容を学びました。各人が奮闘し仕事で使えるまでとなりました。

このことが、当組合のICTの先進的取組みの基礎となりました。



主な出来事

- 5月 ■森林・林業関係  
ふるさとの森づくり県民の集い (第52回長野県植樹祭) (長野市)
- 6月 林業労働力確保対策の推進  
「新たな入札制度」スタート  
「森林整備技術者養成講座」スタート  
森林・林業基本法制定
- 7月 森世紀創造シンポジウム21開催 (長野市)

- 2月 ■地域  
堀米三男選手、ソルトレーク五輪4種目出場
- 10月 豊田村役場庁舎新築決定
- 9月 7市町村で「世界の人と花フェスタin北信濃」
- 6月 山ノ内町観光連盟発足

- 4月 ■国内  
小泉政権発足、「聖域なき構造改革」スタート
- 9月 「東京デイズニッシー」オープン
- 9月 国内初のBSE感染牛確認
- 10月 テロ特措法成立、11月海上自衛隊艦艇インド洋へ
- 10月 アップルiPodを日本で発表
- 11月 JR東日本「Suica」導入
- 12月 雅子さま、愛子さまご出産



●平成14年度（2002年度）

森林組合改革（基本計画の作成）



森林組合改革説明会

新組合発足後、経営環境も大きく変化する中、経営体制の強化が必要となりました。役職員、班長が出席し、森林組合改革説明会が行われ、組合運営について議論されました。

森林組合広域合併等促進事業により、4ヶ月にわたり組合運営について中小企業診断士による経営診断を受け、また経営能力向上を目的に先進地の視察を行いました。その後、改革推進委員会を設置し、財務、組織、業務開発の各専門部会を設けて、様々な角度から検討し、基本計画を策定しました。

中野地域職業訓練校の講師に

中高高等職業訓練校に、求職者委託訓練として林業技能科が開設されました。

求職者が林産業者等の技能職員として勤務できる技能を習得するための職業訓練で、平成14年、15年の2年間、当組合へ講義を依頼されました。

森林整備を行う上での安全管理、測量、作業用機械の操作等の学科や、下刈り、枝払い、間伐等の実習が行われました。

職業訓練講義現場



職業訓練伐採現場

テキスト、資料などの教材や、研修場所を準備し、講義を行いました。

主な出来事

長野県林業関係コンクール受賞

- ▲ 間伐の部  
中野市 市村明氏 県緑の基金 理事長賞
- 中野市 渡辺則雄氏 県森連会長賞



- 1月 導入
- 12月 経営診断報告会  
（京都府南丹市日吉町他）
- 10月 役員視察研修
- 5月 北信州植樹祭（栄村）
- 4月 総代会

■北信州森林組合

- 6月 森世紀プロジェクトが始動
- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い  
（第53回長野県植樹祭）（伊那市）
- 4月 新造林事業がスタート

■森林・林業関係



## 「北信州の森林と家をつなぐ会」設立

木材価格が値下がりし、林業が低迷する中、森林や地域林業を救うために、山林所有者・建築関係者・製材業者・林業に携わる行政機関の職員・森林組合の職員がそれぞれの立場からネットワークを組み、「北信州の森林と家をつなぐ会」が設置されました。



外材が主流の中で、森林整備や地域材について多くの人に知ってもらうため、当組合からも2名がメンバーに加わり使用する木材のコーディネートや木材供給の活動を行いました。

地域材普及活動の一環として公共施設の建設に係りました。

管内の製材工場が県の認証工場となったことにより、公共施設には北信州材が使用され、使用した木材には産地を証明する刻印が刻まれました。組合が合併したことにより、搬出間伐を行っていた、中野市や山ノ内町の木材が、管内の公共施設に使用できるようになりました。

## 《飯山市秋津 中町地域交流センター・大久保地域交流センター》



建物には、地元材の他、組合で搬出している中野市間山地区や赤岩・田上地区の間伐材が使われました。

フローリング用の集成材とするため、組合のトラックを使い、上伊那森林組合の駒ヶ根工場に搬入し、市場を通さないことによりコストの軽減を図りました。



中町地域交流センター



大久保地域交流センター



産地を証明する刻印

## 主な出来事

### 木材粉碎機 ブラッシュチッパー導入



- 2月 柳澤萬壽雄木島平村長（3選）
- 2月 中山茂樹山ノ内町長（3選）
- 12月 北信州の森林と家をつなぐ会設立
- 9月 木内正勝飯山市長、初当選
- 9月 田中康夫長野県知事（2選）
- 4月 学校週5日制スタート
- 4月 替バス運行開始
- 4月 長野電鉄木島線廃止に伴い、代

### ■地域

- 3月 「千と千尋の神隠し」アカデミー賞受賞
- 1月 巨人の松井秀喜、大リーグヤンキース入団
- 12月 鳩山民主党政代表が辞任、新代表に菅氏
- 9月 初の日朝首脳会談（小泉首相・金正日総書記）

### ■国内

- 8月 住民基本台帳ネットワークスタート

●平成15年度（2003年度）

フォレストコミュニティ総合整備事業



中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、豊田村、栄村の2市、1町、4村と森林組合から選出された「ワーキンググループ」

平成11年度から平成14年度まで居住地森林環境整備事業が導入され、北信地域の市町村・森林組合が連携し、加速度的に森林整備を実施してきました。

さらに継続的な森林整備を行うため「フォレストコミュニティ総合整備事業ワーキンググループ」が各市町村・森林組合の担当者約20名を構成員として設立され、地域の森林を健全にするため、森林整備と整備エリアの拡充を図る計画が作成されました。

この事業は平成15年度より平成19年度まで5年に亘り実施されました。

高社中学校体育館建設用の  
間伐材を搬出

中野市高社山四区共有林の間伐現場から、高社中学校の生徒がカラマツ材を搬出しました。

これは建設中であった高社中学校の体育館の壁板に使用するもので、体育館に愛着を持ち、大切に使用してもらうための教育の一環として行われたものです。

当組合の協力の下、1年生3クラス、2年生3クラス、3年生4クラスの全校生徒で合計10本のカラマツを引き出しました。

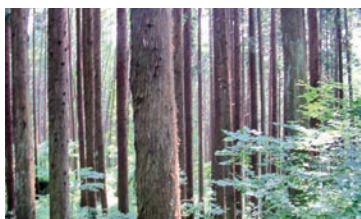


完成した体育館

主な出来事

長野県林業関係コンクール受賞

▲ 間伐の部  
豊田村南永江自治会 県知事賞  
中野市高社山四区共有林 県森連会長賞



5月 4月  
北信州植樹祭（木島平村）  
総代会

北信州森林組合

12月 レット）製造施設が完成  
10月 上伊那森林組合で木質燃料（ペレット）製造施設が完成  
8月 緑の研修生に93人が参加  
10月 県公共施設への木材利用が本格化

5月 森林・林業関係  
ふるさとの森づくり県民の集い  
（第54回長野県植樹祭）  
（白馬村）



## 地域材を使った木造建設

平成14年度から引き続き、地域の木を使うことで森林を守り、健康な家を広め、家づくりが森林を救うという思想のもと、飯山市・豊田村で北信州材を使った地域交流センターが建設されました。

### 《飯山市神明町地域交流センター》

地元のお寺から切り出されたイチイが床柱として使われています。その他の木材は組合が搬出した中野市高社山四区共有林や山ノ内町横倉地区のスギの間伐材が使われました。

木口には産地を証明する刻印が打ち込まれました。



### 《豊田村南永江地域交流センター》



地元の山林から切り出されたスギの巨木は、庇ゲタとして使われています。

その他の木材は組合が搬出した中野市間山地区・高社山四区共有林や山ノ内町横倉地区の間伐材が使われました。

子どもたちも、総合学習との連携で伐採現場の見学や製材所を見学し、直接木材と触れ合うことで、木材に対し深い係わりを持つことが出来ました。



## 主な出来事

### ■地域

- 4月 県議会議員 小林実氏（5選）、小林宗生氏、宮本衡司氏、初当選
- 4月 湯田中駅前「楓の湯」オープン
- 4月 豊田村斑尾大池近くに「まだらおの湯」オープン
- 5月 小林実県議議長就任
- 10月 合併の是非、住民投票で山ノ内町は「自立」
- 2月 青木一中野市長、初当選

### ■国内

- 5月 小惑星探査機「はやぶさ」打上げ
- 5月 受動喫煙防止を義務付けた「健康増進法」施行
- 9月 阪神、18年ぶりのリーグ優勝
- 9月 柔道女子、田村亮子、世界選手権6連覇
- 12月 自衛隊、イラク派遣を決定
- 1月 山口県で鳥インフルエンザ発生





●平成16年度（2004年度）

県植樹祭開催



会場周辺の山林では搬出間伐が行われ、間伐材が会場の土留めなどに使用されました。  
植樹には田中康夫県知事も参加されました。

飯山市斑尾高原にて、飯山市制50周年を記念し、「よみがえれぼくらのふるさと きれいな森」をテーマに県植樹祭が開催されました。

当管内では、平成8年の木島平村以来8年ぶりの開催となりました。



搬出間伐作業  
(飯山市旧飯山国際スキー場)

搬出間伐には、当組合が初めて導入した高性能林業機械のスイングヤーダを使用しました。



初の高性能林業機械導入



スイングヤーダ

主な出来事

- 4月 総代会
- 8月 スイングヤーダ導入
- 3月 臨時総代会(役員定数減のため)

■北信州森林組合

- 1月 シンポジウム「開催
- 1月 森林の里親「新たな森林づくり
- 11月 750万円の支援を受ける
- 11月 森林の里親契約 県下で総額
- 11月 (株)デサント・野沢温泉村契約
- 11月 森林の里親促進事業

■森林・林業関係

- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い  
(第55回長野県植樹祭)
- 10月 長野県ふるさとの森林づくり  
条例制定  
(飯山市)





### 志賀高原で森林空間総合整備事業



搬出された木材は、志賀高原内で薪炭用に利用され、また一部はチップとして遊歩道に使用されました。

国立公園内の志賀高原で、平成16年から20年まで山ノ内町が事業主体となり、森林空間総合整備事業が行われました。搬出間伐を当組合が請負いました。



### 平岡小学校体育館建設に間伐材を使用



力を合わせて、玉切り、引き出しを行い、貴重な体験となりました。



完成した体育館



平岡小学校体育館建設にあたり、当組合が間伐を行った、中野市高社山四区共有林の木材が使用されました。建設にあたっては平岡小学校の4年生から6年生までの児童が羽目板用のカラマツを、玉切り、搬出する体験をしました。

大ノコギリで玉切りした木材にロープをつけて引き出し、木口に刻印を打ち込みました。

搬出した木材は、製材、乾燥後、立派に羽目板加工され、新しい体育館に使用されました。

### 主な出来事

#### ■国内

7月 拉致被害者の蓮池、地村、曾我さんの家族帰国

8月 アテネ五輪で金メダル史上最多タイの16個

9月 再編問題でプロ野球界大揺れ、初の選手ストライキ

10月 新潟県中越地方で震度7の地震

2月 中部国際空港「セントレア」開港

#### ■地域

5月 中野バラまつりスタート  
全国ばらサミット開催

9月 豊田村新役場庁舎が完成

10月 台風23号による被害甚大

1月 北信広域連合管内合併は中野市と豊田村のみ

2月 河野幹男野沢温泉村長、初当選

3月 豊田村が閉村式、48年余の歴史に幕





●平成17年度（2005年度）

山村境界保全事業を実施

山ノ内支所では、国土交通省のモデル事業で、山林のおおむねの境界を保全することを目的とした、山村境界保全事業を実施しました。

この事業は、全国6ヶ所で行われ、山ノ内町では、佐野、寒沢地区の一部329haの調査を実施しました。

測量方法は、DGPS（衛星からの補正波）により基準点を設け、基準点からデジタルコンパスで計測を行うもので、調査点を座標値でデータ管理できるため、復元性が高く、以後の森林整備にも活用できます。

この事業がきっかけとなり、その後、森林境界明確化事業を行うこととなりました。



カツラマルカイガラムシ被害拡大



飯山市から木島平村にかけての千曲川流域において、カツラマルカイガラムシによる落葉広葉樹林の樹木枯れ被害が発生しました。

長野県の実施する、スプラサイド乳剤等の薬剤散布試験に協力し、被害拡大の防止に努めました。

主な出来事

長野県ふるさとの森林づくり賞受賞



森林づくりの部

中野市 間山区 県知事賞

中野市 渡辺則雄氏

県林業経営者協会会長賞

森林づくり推進の部

山ノ内町 堀米憲一郎氏

県猟友会長賞

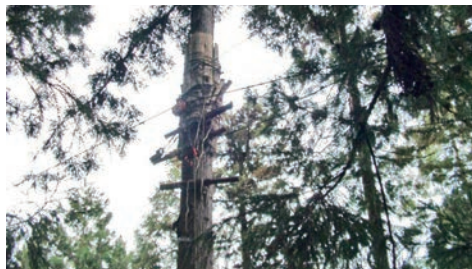


- 4月 総代会21名の新役員選任
- 4月 総代・参与役員・連絡員選任
- 4月 飯山支所新町庁舎に移転
- 4月 デジタルコンパス講習会
- 5月 森昭和組合長就任
- 5月 北信州植樹祭（山ノ内町）

■北信州森林組合



### 角間墓地倒木処理



20年ぶりの大雪で、多くの雪折れ被害が発生しました。

山ノ内町佐野角間の墓地でも雪による倒木被害があり、当組合で撤去作業を行いました。



スカイラインを用いた本格的な林業架線による撤去作業を行いました。大変難しい作業になりましたが、墓石を傷つけることもなく、無事に終わることができました。

### 高規格作業道（林業専用道路）開設

飯山市瑞穂関沢の山林にて、森林づくり交付金事業を用いて、高規格作業道を開設しました。

入札により土木業者を選定し、926mの作業道を開設しました。これにより、高性能林業機械による間伐が可能になり、トラックによる木材の搬出も円滑に行えるようになりました。U字溝を敷設し、雨水を逃がし作業道の荒れを防ぎました。



### 主な出来事

- 1月 森林づくりの功績を表彰する制度を創設
- 6月 森林づくり指針、信州の森林づくりアクションプランの策定
- 6月 森林組合法改正
- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い（第56回長野県植樹祭）（川上村）
- 4月 長野県初、木質バイオマスを利用した発電開始

#### ■森林・林業関係

- 4月 中野市と豊田村が合併して、新「中野市」誕生
- 4月 青木一中野市長、初当選（新市）
- 4月 高速道信州中野IC〜豊田飯山IC4車線完成

#### ■地域

- 3月 野球の第1回WBCで日本優勝
- 2月 荒川静香、トリノ五輪で金メダル、イナバウアー
- 11月 紀宮さまご結婚

#### ■国内

- 6月 クールビズ開始
- 9月 衆院選で自民圧勝、郵政民営化法成立



●平成18年度（2006年度）

**国有林生産請負開始**

栄村鳥甲国有林、木島平村往郷山国有林で、初めての国有林野事業製品生産請負事業を行いました。

当年度、林産専門班を編成し搬出間伐施工体制を強化したことで、国有林事業の請負が可能になりました。

鳥甲国有林では、ひどい根曲がりでしたが、苦心して造材し、設計では30%程度の歩留まりでしたが、50%近くまで採材できました。

請負面積 28.56ha、請負金額 1,501万円となりました。



鳥甲国有林の根曲がり

**下高井農林高校インターンシップ開催**



北信州の森林と家をつなぐ会の委託を受け、下高井農林高校生のインターンシップ（就業体験）を行いました。

当組合の素材生産現場では高性能林業機械の実技研修を行い、製材所では製材工程の見学を行うなど、大変充実した研修となりました。

インターンシップは現在まで継続して行われ、研修生から当組合への就業者も出ています。

主な出来事

**ペレットストーブ導入展示  
ペレット「ピュア1号」販売開始**



ペレット上伊那森林組合「ピュア1号」の取り扱いを始めるにあたり、ペレットストーブを導入しました。

■北信州森林組合

- 9月 森林・林業基本計画策定
- この年 森林の里親促進事業
- 長野県リサイクル資材協会・天然記念物黒岩山保全協議会契約
- 4月 総代会
- 5月 北信州植樹祭（野沢温泉村）
- 10月 高性能林業機械プロセッサ導入
- 10月 役員視察研修（石川県七尾市）
- 12月 役員全体会議



### 役職員全体会議



雇用条件、賃金体系の改善や定期的な班長会議の開催が提案されるなど、活発な意見交換が行われました。

組合長他役職員 60 名が参加し、パノラマランド木島平で役職員全体会議が開催されました。



### 林ベニヤ産業(株)へ合板材の出荷開始



長野県森林組合連合会を介して石川県の林ベニヤ産業(株)へ合板材の出荷を開始しました。これまで木材チップとして低単価で取引されていたトビ腐れ材が、合板規格として出荷できるようになり、低質材を多くかかえる当組合の林産事業の拡大につながりました。

### 飯山支所機材倉庫設置



飯山市静間伍位野に機材倉庫を設置しました。水道や簡易トイレを備え、飯山支所の技能職員の集合場所として利用しました。

### 主な出来事

- |   |  |  |                                  |
|---|--|--|----------------------------------|
| <p>5月 ふるさとの森づくり県民の集い<br/>(第57回長野県植樹祭)<br/>(下伊那郡根羽村)</p> | <p>■森林・林業関係</p> <p>2月 芳川修二木島平村長、初当選</p> <p>2月 竹節義孝山ノ内町長、初当選</p> <p>12月 70年ぶりの異常寒雪</p> <p>9月 石田正人飯山市長、初当選</p> <p>8月 村井仁長野県知事、初当選</p> <p>7月 梅雨前線の影響で千曲川が増水し、床上・床下浸水相次ぐ</p> | <p>■地域</p> <p>2月 第1回東京マラソン大会開催</p> <p>1月 最高気温35度以上の日を「猛暑日」とする(気象庁)</p> <p>11月 戦後最長に景気回復、「いざなぎ景気」超え、</p> <p>9月 第一次安倍政権発足</p> <p>8月 冥王星が太陽系惑星から外れる</p> | <p>■国内</p> <p>9月 紀子さま、悠仁さま出産</p> |
|---|--|--|----------------------------------|



●平成19年度（2007年度）

森林の里親促進事業



関係者による記念植樹が行われ、国道292号沿線の広場に『バンダイナムコの森』の看板が設置されました。

当組合も開催に協力しました。

県が進める「森林の里親促進事業」により、山ノ内町(財)和合会と(株)バンダイナムコグループが、森の里親契約を結び、5月に調印式典が開催されました。



また、平成16年に野沢温泉村と(株)デザートで協定している「ホールアースの森」では、「大人の林間楽校」が開校されました。当組合職員が森の番人として説明を行いました。



カシノナガキクイムシ被害拡大

カシノナガキクイムシという昆虫によりミズナラやコナラが枯れる被害が平成17年から千曲川西側地域から始まりました。

野沢温泉村から中野市北部にかけて千曲川東側地域、新潟県津南町へかけ被害が拡大しました。

組合員報「むささび」第9号でも特集が組まれています。



被害木は赤茶色に変色している

主な出来事



ヒメシジミ

- 4月 総代会
- 5月 北信州植樹祭（中野市）
- 12月 役員全体会議
- 3月 生分解性オイル使用宣言

■北信州森林組合

- 12月 「長野県森林づくり県民税条例」が可決
- 9月 台風第9号災害による造林地等の被害が発生
- 9月 グス・(財)和合会契約
- 5月 森林の里親促進事業 (株)バンダイナムコホールディングス・(財)和合会契約

■森林・林業関係

- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い（第58回長野県植樹祭）（南木曾町）



### 生分解性オイル使用宣言

当組合では、北信州地域の森林整備の中核を担うものとして、森林環境保護を目的とし、平成20年4月より全ての事業においてチェーンソーのソーチェーン用オイルに、生分解性オイルだけを使用することを宣言しました。

鉱物性オイルについては、すべて回収し、他の林業事業体へ有償譲渡しました。



回収した鉱物性オイル

### 中野市山林火災



中野市内の山林で不審火と思われる火災が相次ぎました。林道入口にゲートを設置する等の不審火対策に、当組合が協力しました。

### 役職員全体会議



18年度に引き続き役職員全体会議が行われました。これにより平成20年4月に技能職員給与規程が改正され、完全月給制となりました。

### 主な出来事

国内	地域
4月 年金記録未統合 5000万件が判明	4月 県議会議員宮本衡司氏(2選)、丸山栄一氏、小林東一郎氏、初当選
5月 憲法改正手続きを定めた国民投票法が成立	5月 村井知事迎え飯山市で車座集會(医師不足他)
7月 参院選で自民、歴史的敗北	6月 北陸新幹線高丘トンネル6918m貫通式
7月 新潟県中越沖地震で死者11人	9月 新幹線関連、飯山駅周辺区画整理事業が起工
9月 安倍首相、突然の辞任 福田内閣発足	12月 北陸新幹線飯山トンネルが全貫通
2月 イージス艦が漁船と衝突	3月 飯山市富倉地籍で大規模な土砂災害



●平成20年度（2008年度）

林業経営相談会



長野県信州の木振興課による講演や、当組合職員も参加してのパネルディスカッションなどが行われました。

全国森林組合連合会が進めている、施業集約化・供給情報集積事業の一環として、山ノ内町ホテル水明館にて、組合員を招いて林業経営相談会を開催しました。



技能職員採用試験



体力測定による採用試験を初めて実施しました。

低コスト高效率作業システム研修会



森林づくり県民税による高度間伐技術者集団育成事業を活用して、技能職員の養成を行いました。

長野県林業職員協会 県大会開催



長野県林業職員協会の県大会が山ノ内町夜間瀬活性化センターで開催されました。

主な出来事

- 4月 総代会  
23名の新役員選任
- 5月 総代・参与委員・連絡員就任  
原修一郎組合長就任
- 6月 北信州植樹祭（栄村）
- 9月 林業経営相談会
- 2ndステージ決定
- 森林組合活動21世紀ビジョン

■北信州森林組合



## 森林 GIS、GPS 受信機、デジタルコンパス導入



導入した機器の操作方法について、実務研修を行いました。

集約化事業を円滑に進めるために、県下では他の組合に先駆けて、森林 GIS ソフトウェアと GPS 受信機、デジタルコンパスなどを導入しました。



GPS 受信機

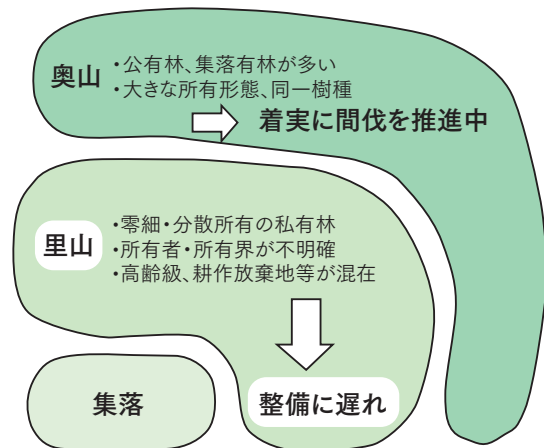
## 「長野県森林づくり県民税」施行

4月より、「長野県森林づくり県民税」（森林税）が施行されました。納税者一人あたり年額 500 円納めることになりました。

この県税は主に手入れがされず、放置されていた里山を中心に、地域の皆さんと共に、間伐などを集中的に実施するためのものです。



森林税による嵩上げ（2割）により、里山整備事業は9割補助となり、管内では広葉樹林を中心に切り捨て間伐を実施しました。



《当年度実績》	事業量	132.91ha
	補助金額	41,693,400円

## 主な出来事

- 3月 新たな長野県産材利用指針を策定
- 3月 初の「森CO<sub>2</sub>吸収量認定書」を交付
- 5月 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法制定
- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い（第59回長野県植樹祭）（長野市）
- 4月 「長野県森林づくり県民税」導入

### ■森林・林業関係

- 9月 信越トレイル全線開通（延長80km）
- 11月 小田切治世中野市長、初当選
- 12月 「志賀高原リゾート開発」スタート
- 3月 富井俊雄野沢温泉村長、初当選

### ■地域

- 8月 北京五輪、北島康介連続2冠、女子ソフト悲願の金
- 7月 「崖の上のポニョ」公開
- 6月 秋葉原で通り魔、7人死亡
- 4月 後期高齢者医療制度（長寿医療制度）スタート

### ■国内

●平成21年度（2009年度）

新事務所建設の経過

≪臨時総代会を開催≫



平成21年度緊急経済対策事業の森林整備加速化・林業再生事業（基金）を活用して、新しく組合事務所（本所）の建設を行い、当組合の組織体制を更に確固たるものにしていく事を理事会で決定しました。

本所の建設と移転に関しては、財産の変動に伴い、事業計画の変更に関連し、総会議決事項であるため、臨時総代会を開催しました。

≪土地の購入≫

建設位置は、合併時に広域合併推進協議会から提言されていた、北信合同庁舎付近に用地の購入をしました。



≪建設委員会視察≫



新事務所建設に向けて、建設委員会で東京都江東区木場、松本市など、各所を視察しました。



主な出来事

国有林間伐推進コンクール 受賞



平成21年度国有林間伐推進コンクール間伐事業の部で、中部森林管理局長賞を受賞しました。

- 1月 新事務所建設用地購入
- 1月 建設委員会県内先進地視察
- 12月 建設委員会東京江東区木場視察
- 9月 臨時総代会
- 9月 高森壽實夫組合長就任
- 8月 原修一郎組合長逝去
- 7月 役員視察研修(富山県南砺市他)
- 5月 北信州植樹祭(木島平村)
- 5月 安全大会
- 4月 技能職採用試験
- 4月 総代会

■北信州森林組合



## 安全大会初開催



熟練技能者が退職し、新規雇用者が増加する状況下で、労働災害も増加する傾向にありました。

そのため労働災害防止を重要課題として取り組み、安全大会を開催し、全職員および協力会社の安全衛生への意識改革を図りました。



## 重機購入



ロータリー除雪車



フォワーダ



## 技能職員採用試験



現場作業員としての適性を判断するため、登山による体力測定を行いました。

## 主な出来事

### ■国内

- 4月 世界同時不況で電機、自動車など巨額赤字
- 8月 裁判員裁判始まる
- 8月 民主圧勝、政権交代 社民・国民新と連立
- 1月 日本年金機構発足
- 1月 日本航空が経営破綻、改革・再生へ

### ■地域

- 4月 北信保健福祉事務所、北信建設事務所新設
- 2月 バンクローバー五輪へ竹内択選手壮行会
- 3月 「須賀川法印そば」の商標登録を取得

### ■森林・林業関係

- 6月 ふるさとの森づくり県民の集い（第60回長野県植樹祭）（東御市）
- 7月 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区の開園





●平成22年度（2010年度）

地域材展示施設（創森館）

※「創森館」建設については、第2章をご覧ください。

《創森館完成まで》



5月 造成工事



6月 起工式  
来賓をお迎えし神事が行われました。



12月 内覧会  
60名ほどの参加がありました。



12月 完成

《竣工・開所式》



テープカット



竣工・開所式記念写真



看板の除幕式



愛称「創森館」に命名



主な出来事

- 6月 北信州植樹祭（飯山市）
- 5月 安全大会
- 5月 総代会

■北信州森林組合

- 11月 「長野県森林づくり指針」を改定
- 10月 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律施行
- 10月 林業への新規就業者が過去最高を記録

■森林・林業関係

- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い（第61回長野県植樹祭）（駒ヶ根市）



**阿部知事来組**



北信地方事務所林務課長、普及林産係長、なべくら高原森の家の支配人と当組合の田中総務係長が、阿部知事と懇談をしました。

1月に信州を愛する大人の情報誌「KURA」の連載コーナー「阿部知事が行く」の取材のため阿部守一長野県知事が来組されました。



**森林資源調査等支援事業・集約化施業推進員育成事業**

長野県からの委託を受け、森林資源把握が困難な民有林の資源量調査を実施するため、職員を増員し、新規雇用者の育成を行いました。



**GPS 受信機増設**



GPS 受信機、デジタル方位距離計と携帯端末を増設し、森林 GIS により、より多くの森林境界情報及び森林資源情報管理を行うことができました。

※ GPS…全地球無線測位システム。24 時間いつでも、地球上のどこにおいても、誰もが簡単に使用でき、しかも高精度に位置を測定できる。

※ GIS…地理情報システム。地理情報および付加情報をコンピュータ上で作成・保存・利用・管理・表示・検索するシステム。

**主な出来事**

- 地域
- 8月 阿部守一長野県知事、初当選
  - 9月 足立正則飯山市長、初当選
  - 2月 芳川修二木島平村長（2選）
  - 2月 竹節義孝山ノ内町長（2選）
  - 3月 長野県北部地震で栄村震度6強、被害甚大



- 国内
- 6月 小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶり帰還
  - 7～9月 記録的猛暑、熱中症による死者多数
  - 9月 円高で6年半ぶり市場介入
  - 2月 ゼロ金利復活
  - 2月 大相撲の八百長発覚、春場所中止
  - 3月 東日本大震災、原発事故で被害甚大



●平成23年度（2011年度）

公益信託 農林中金 80周年森林再生基金  
～『FRONT80』助成対象事業～

放棄された森林をもう一度地域の管理下に取り戻すため、境界明確化、資源量調査を実施し、そこで得られたデータをGISでデジタル管理し、森林整備事業に結びつけることで、地域森林を持続的に利用するという取り組みが評価され、助成が決定されました。

＜事業の流れ＞



事業の説明会



境界の立会い



測量

主な出来事

高性能林業機械導入



フォワード

9～10月 林業入門講座

7月 中核森林組合認定

6月 北信州植樹祭（山ノ内町）

5月 総代・参与委員・連絡員就任

～27年まで

3rdステージ始まる

森林組合活動21世紀ビジョン

21名の新役員選任

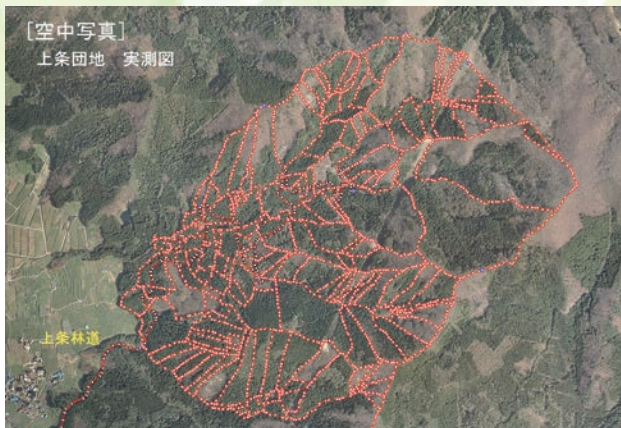
5月 総代会

■北信州森林組合

7月 長野県森林づくりアクションプラン策定

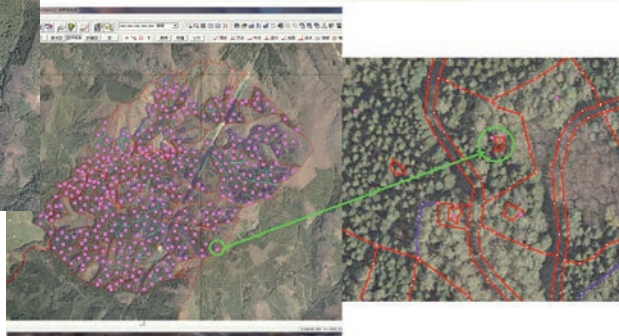
6月 ふるさとの森づくり県民の集い（第62回長野県植樹祭）（塩尻市）





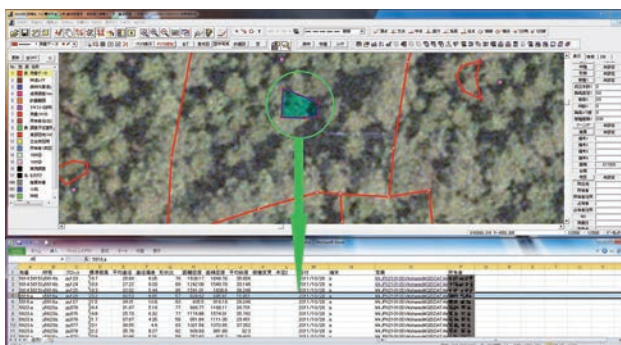
《空中写真の活用》

測量したデータを森林 GIS に取り込み、空中写真上に図化しました。



《資源調査結果》

本数密度・樹高・胸高直径などの調査を実施しました。



《調査結果の電子化》

GIS を用いて調査結果を電子化することで、恒久的な利用につなげました。

中野市、山ノ内町、木島平村の3団地で事業を行い、事業量は400.8haとなりました。

間伐材簡易倉庫の販売開始

生産した間伐材を使って簡易倉庫を作製しました。見本を本所に常設展示し、注文製造して60万円（当時）で販売を開始しました。



主な出来事

この年  
森林組合PR事業、SBCラジオ「モーニングワイドラジオJ」放送開始

■森林・林業関係

- 1月 インフルエンザ猛威、小学校で相次ぎ学級閉鎖
- 2月 豪雪で飯山市に「災害救助法」
- 3月 各JAなどで「TPP反対」運動
- 1月 信越9市町村広域観光連携会議が設立
- 1月 丸山栄一氏（2選）、小林東一郎氏（2選）
- 4月 県議会議員宮本衡司氏（3選）、丸山栄一氏（2選）、小林東一郎氏（2選）

■地域



- 11月 大阪府知事、市長のダブル選で「維新の会」圧勝
- 7月 小笠原諸島が世界自然遺産に登録
- 7月 なでしこジャパン、サッカーW杯優勝
- 7～9月 原発停止相次ぎ、電力不足が深刻化

■国内

## ●平成24年度（2012年度）

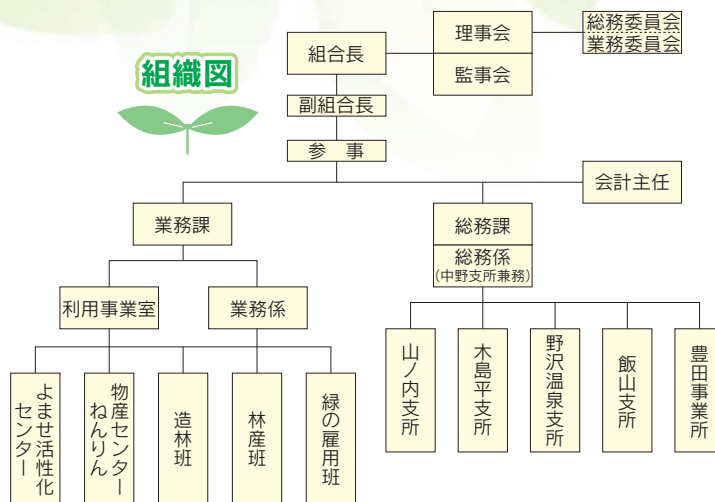
### 組合組織体制が変更

#### ～林業再生プランと森林組合改革に対応するための組織改編～

業務課では業務係において、森林関係事業を専門に行うこととし、特に集約化を主業務とする担当を10名配置しました。

これにともない、特殊伐採などの利用事業や、冬期の除雪業務、木製品等の販売などを主業務とする利用事業室を設置しました。

また、作業班は全て業務課の下に配置し、支所は組合員関係業務と購買業務を主業務として、総務課の下に配置しました。



### 斑尾山荘に軽油地下タンクを設置



斑尾高原にガソリンスタンドがなくなってから、除雪車の燃料給油が課題となっており、10月の理事会で地下タンクの設置が決定されました。

工事、消防署の検査も終え、除雪事業に間に合うことができました。

燃料は大量購入となりますので、これまでより安価で購入でき、燃料価格が高騰する中、経費削減につながりました。

### 主な出来事

- 4月 組織体制を変更
- 4月 総代会
- 7月 役員視察研修（岩手県盛岡市）
- 8月 森林組合トップセミナー
- 9～10月 里山整備入門講座
- 11月 斑尾軽油地下タンク設置

#### ■北信州森林組合

- 8月 平成28年の全国植樹祭開催県に長野県が内定

#### ■森林・林業関係

- 4月 森林経営計画制度がスタート
- 6月 ふるさとの森づくり県民の集い（第63回長野県植樹祭）（野沢温泉村）





### 県植樹祭 開催

6月に野沢温泉村のオリンピックスポーツパークで県植樹祭が開催され、県下各地から1,400名もの参加がありました。

当管内での開催は、飯山市での開催以来8年ぶりとなりました。

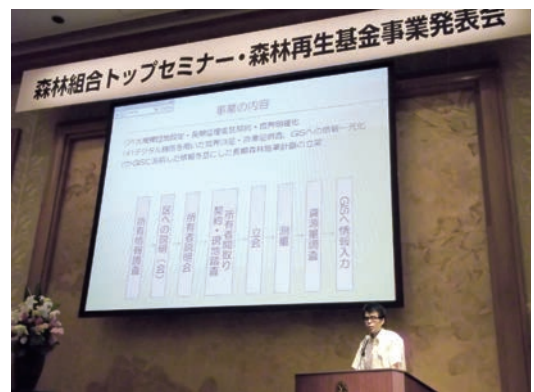


ユキツバキとスギ、オオヤマザクラなど4,200本が植栽されました。

### 森林組合トップセミナーに参加

8月に農林中央金庫と全国森林組合連合会主催により、東京で森林組合トップセミナーが開催され当組合も参加しました。

森林再生基金事業で昨年行った「デジタル森林管理」について南都技師が事例発表を行いました。



### 高性能林業機械3台を導入



### 主な出来事

- 11月 池田茂中野市長、初当選
- 11月 J R飯山駅前に仁王門と仁王像
- 3月 富井俊雄野沢温泉村長（2選）
- 3月 信越9市町村広域観光エリア「信越自然郷」に

#### ■地域



- 5月 東京スカイツリー開業
- 8月 ロンドン五輪で日本勢史上最多メダル（38個）
- 10月 オスプレイ沖繩に配備
- 12月 第46回衆院選で自公圧勝、政権奪還
- 12月 山中伸弥教授にノーベル医学賞
- 12月 東京都知事に猪瀬直樹氏初当選

#### ■国内

●平成25年度（2013年度）

広報誌「むささび」が奨励賞に



広報誌「むささび」が、全国林業改良普及協会主催の、林業関係広報コンクールで奨励賞を受賞し、5月に沼田林野庁長官や飯塚日本林業協会長など多くの来賓のご臨席を受けて表彰式が行われました。

高森組合長が西場全国林業改良普及協会長から表彰されました。



GISの精度向上に向けた新たな取り組み

レーザーバードは、航空機に搭載したレーザー測距装置・GPS・IMU（姿勢計測装置）を用いて地表面の3次元データを求めます。取得した点群データから、地形や建物の形状が詳細に表現できます。



実効性の高い森林経営計画作成を行うため、また、詳細な地形図を境界明確化事業と森林作業道開設に活用していくため、理事会の決定を受け、アジア航測（株）の開発した森林解析情報システムの取得に向け契約をしました。

集約化部門を本所に一元化

平成25年度は、森林経営計画制度に対応するため、集約化部門を本所に完全移行して、次年度以降の事業を潤沢に進めるため、担当職員が目標達成に向けて取り組みました。

主な出来事

組合ホームページリニューアル



全体構成から全てをリニューアルして、誰からも検索されやすくし、内容もたいへん見やすいものになりました。

■北信州森林組合

- 4月 総代会
- 5月 林業関係広報コンクール表彰式
- 5月 広報誌「むささび」が奨励賞
- 5月 安全大会
- 6月 北信州植樹祭（中野市）
- この年 森林の里親促進事業
- NPO法人森のライフスタイル研究所・木島平村契約
- 伊藤忠建材・木島平村契約
- 8月 「オーレストリア森林・林業フォーラムin長野」開催（長野市）



**中部・北陸ブロック林業グループコンクール 開催**  
**～長野県代表高水林業協議会が全国コンクールに～**



中部・北陸ブロック林業グループコンクールが山ノ内町ホテル水明館で開催され、県代表として高水林業協議会が発表を行いました。

協議会として林業全体をとらえた多面的な活動についてたいへん高い評価をえることができ、ブロック内の8県（愛知・石川・他6県）の代表として、全国林業グループコンクールの出場権を得ることができました。

当組合も開催に協力しました。

**荒井和恵さん 雑誌『現代林業』表紙に**

総務課の荒井和恵さんが、全国林業改良普及協会が発行する月刊誌『現代林業』の1月号の表紙に登場しました。撮影は、編集部の専門家により中野市の一本木公園で行われました。



**中間土場を開設**

**～山ノ内町赤坂林産事業所～**



長野県森林組合連合会と栄村森林組合との共同出荷で中国への販売を試みました。



輸送コスト削減のため大量出荷が可能となるよう、各現場から集荷し貯木できる中間土場を赤坂林産事業所に開設しました。

**主な出来事**

■森林・林業関係  
 4月 長野県森林づくり県民税が延長  
 5月 ふるさとの森づくり県民の集い  
 （第64回長野県植樹祭）（佐久市）

■地域  
 4月 21日未明から季節はずれの大雪  
 9月 台風18号、農作物に大きな被害  
 12月 北信総合病院の新病棟が完成  
 2月 記録的大雪で農業ハウスなど被害

3月 「日本一の高層ビル」あべのハルクス」開業  
 12月 特定秘密保護法が成立  
 11月 小笠原諸島、西之島付近で噴火、新島出現

10月 伊豆大島の土石流など自然災害で被害相次ぐ  
 9月 2020年夏季五輪、東京開催決定  
 8月 イチロー選手、日米通算4千安打  
 7月 日本、環太平洋連携協定（TPP）交渉に参加

■国内  
 5月 長嶋茂雄、松井秀喜、国民栄誉賞  
 6月 富士山が世界文化遺産に登録  
 7月 参院選で自民圧勝、「ねじれ」解消  
 7月 日本、環太平洋連携協定（TPP）交渉に参加

●平成26年度（2014年度）

**中国市場を現地視察**

中国市場の調査を目的として、正副組合長他職員が9月に現地視察を行いました。

当組合の木材生産量が20,000m<sup>3</sup>を超えようとしている中で、C材販売の主流となっている中国輸出の今後の可能性を判断するために、現地の木材流通の状況の調査を行いました。



上海市北側の太倉市にある太倉港  
直江津港から輸出した木材はこの港に荷下ろしされる

前年から続く円安の影響もあり、中国向けの販売など新たな大口需要が生まれました。これは販売価格にも影響し、中国向け価格がバイオマス用材やオガ粉用材の価格を押し上げることにつながりました。



太倉港に極積された木材  
当組合や栄村森林組合、北信木材センターより出荷

**高性能林業機械の配備完了**

21世紀ビジョン・3rdステージで目標としていた高性能林業機械の配備が、3月に3台配備され完了しました。

これによりスイングヤーダ5台、フォワーダ5台、プロセッサ・ハーベスタ5台の15台体制ができました。



スイングヤーダ



フォワーダ



ハーベスタ

主な出来事

**マスコットキャラクターが誕生しました**



Shinちゃん Rinちゃん

- 11月 JA祭（JAみゆき）「山の恵みフェア」として出店（飯山市）
- 3月 高性能林業機械3台導入
- 9月 中国視察
- 6月 北信州植樹祭（栄村）
- 5月 安全大会
- 5月 総代・参与委員・連絡員就任
- 中山稿一組合長就任
- 4月 総代会
- 4月 新役員選任
- 4月 豊田事業所廃止、本所に統合
- 4月 総代会
- この年 森林の里親促進事業
- 7月 「信州山の日」制定記念イベント（安曇野市）
- （株）3Top・（財）和合会契約
- 玉村町（群馬県）・山ノ内町契約

■北信州森林組合



**北陸新幹線飯山駅（当組合生産間伐材使用）開業**



平成24年に飯山市行造林地（蓮区有林）で搬出間伐を行い、間伐材を駅建設に向けて出荷しました。

3月14日に北陸新幹線が金沢まで延伸し、新たな飯山駅が開業しました。

この飯山駅建設に際しては、地域材がふんだんに使用されました。駅舎には、当組合で生産しましたカラマツ間伐材が使用されています。また、高水若杉会などによるスギ間伐材での駅構内の木質化も行われています。



**トラックスケール設置**



赤坂中間土場にトラックスケールを設置しました。トラック運転手が計量や検量書の発行ができるようシステムの整備を行いました。

**丸山久美子さん  
森林組合監査士試験合格**

会計主任兼会計係長の丸山久美子さんが、全国森林組合連合会が実施した、森林組合監査士試験に合格しました。

県下では、女性の合格は16年ぶりとなりました。当組合のコンプライアンス体制がより一層強固なものとなりました。

**主な出来事**

6月 市川海老蔵さん志賀高原で植樹・ABMORI  
ふるさとの森づくり県民の集い（第65回長野県植樹祭）（富士見町）

■森林・林業関係

3月 北陸新幹線開通、飯山駅開業  
2月 竹節義孝山ノ内町長（3選）  
2月 日基正博木島平村長、初当選  
1月 木島平村が「ふるさとづくり大賞」総務大臣表彰  
11月 長野北部でM6.7最大震度6弱  
9月 足立正則飯山市長（2選）  
8月 阿部守一長野県知事（2選）  
4月 道の駅ふるさと豊田に農産物直売所オープン

■地域

4月 竹内沢さん、銅メダル胸に故郷への道  
4月 道の駅ふるさと豊田に農産物直売所オープン  
12月 日本人3人（赤崎、天野、中村）ノーベル物理学賞  
9月 テニスの錦織圭、全米オープン準優勝  
9月 御嶽山が噴火、57人死亡、6人不明  
8月 広島で土砂災害、74人死亡  
8月 宮崎駿監督にアカデミー名誉賞  
7月 解釈改憲で集団的自衛権容認  
6月 「富岡製糸場」、世界文化遺産に決定  
4月 消費税8%に引き上げ

■国内

●平成27年度（2015年度）

**今井林野庁長官が当組合を視察されました！**

これまでの境界明確化と集約化の取組みが全国的な評価を受けました。

林野庁の今井長官が当組合を視察されました。桂川中部森林管理局長の案内で、関係者を伴って長野駅からエムウェーブ、飯山駅を見学した後に、組合本所（創森館）に見えられました。

当日は組合長と組合職員、また長野県林務部から市村信州の木活用課長ほか関係職員が出迎えました。



今井長官

桂川局長

中山組合長



今井長官は当組合が行っている、森林境界明確化と施業集約化について視察をされました。

長官は農林水産省経営局で農業の集約化に取り組んでこられた方で、林業分野での集約化施業についてたいへん関心を持っておられました。今回、全国でも先進的に取り組んでいる、当組合の取組みを視察され、大変好評をいただきました。

主な出来事

■森林・林業関係

- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い  
全国植樹祭1年前イベント  
(大町市)

- 11月 第67回全国植樹祭200日前イ  
ベント

「里山と海から森を想う」  
(長野市)

■北信州森林組合

- 4月 今井林野庁長官視察

- 4月 総代会

- 5月 若者タウンミーティング

- 5月 苗木のホームステイ

- 6月 北信州植樹祭(木島平村)

- 7月 役員視察研修(静岡県浜松市)

- 8月 安全大会

- 11月 JA祭(JAみゆき)「山の恵

- みフェア」として出店(飯山市)

- 1月 長野県ふるさとの森林づくり大  
賞表彰式



マユミ



## 長野県ふるさとの森林づくり大賞受賞



平成 27 年度の長野県ふるさとの森林づくり賞で、当組合が大賞を受賞し、中島恵理副知事から表彰されました。

平成 17 年にいくつかあった林業関係の賞を一つにまとめる形で創設されたこの賞は、森林・林業の健全な発展に資するため、その振興に貢献のあった者に贈られるものです。

平成 27 年度のあゆみ

### ～県下の森林組合で初の受賞～

本賞は田中康夫知事時代に創られたもので、これまで県下各地の個人や林業関係団体が表彰されてきました。

森林組合が森林整備を行うのは、業としてあたり前のことであり、これまでは賞の対象となることはありませんでしたが、当組合の先進的な取組みが評価され、森林組合として初めての受賞となりました。



中山組合長が受賞者を代表して謝辞

### 主な出来事

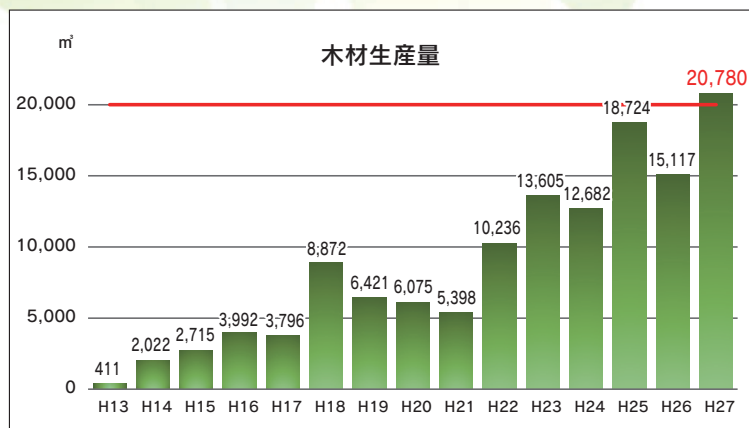
- |  |                            |  |
|--|----------------------------|--|
| <p>3月 アメダス飯山、暖冬で開設以来の最少降雪量</p> <p>1月 暖冬の影響、雪不足でスキー場集客減</p> <p>4月 北信総合病院が「地域がん診療病院」に指定</p> <p>4月 丸山栄一氏（3選）、小林東一郎氏（3選）</p> | <p>4月 県議会議員 宮本衡司氏（4選）、</p> | <p>2月 環太平洋連携協定（TPP）、日米等12か国が署名</p> <p>1月 日銀、マイナス金利を初導入</p> <p>1月 長野軽井沢スキーツアーバス事故、15人死亡</p> <p>1月 マイナナンバー制度スタート</p> <p>9月 安全保障関連法が成立</p> <p>8月 川内原発再稼働</p> <p>7月 白紙に</p> <p>7月 東芝不正会計で歴代社長辞任</p> <p>7月 新国立競技場建設、エンブレム</p> |
|--|----------------------------|--|

●平成27年度（2015年度）

平成27年度木材生産量 20,780m<sup>3</sup>

～初めて年間20,000m<sup>3</sup>を超える～

平成26年度に高性能林業機械の配備が完了したことで現場の生産性向上により、民有林の受託林産では16,569m<sup>3</sup>を生産することができました。これに国有林の生産請負分4,211m<sup>3</sup>を合わせると、年間の木材生産量は20,780m<sup>3</sup>となり、合併当初の生産量の10倍となりました。



ふるさとの森づくり県民の集い

(第66回長野県植樹祭)で阿部知事から感謝状



青空の中に北アルプスの鹿島槍ヶ岳を背景にした、たいへん美しい景色の中で、式典が行われました。

大町市で開催されました「ふるさとの森づくり県民の集い」（全国植樹祭1年前イベント）で、当組合の全国植樹祭への資金協賛に対して、阿部知事から感謝状が贈呈されました。



消防庁から消防団協力事業所に認定

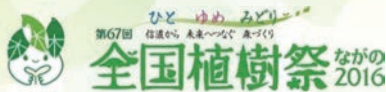


消防庁の消防団協力事業所に認定され、表示証と表示証交付書の交付式が3月に岳南広域消防本部で行われました。

組合の特別休暇制度には、「天災地変等により消防団員として出動を要請された場合」が規定されており、火災等有事に対しても特別休暇を活用できるよう、消防団活動に協力しています。



## 飯山駅南口植樹祭開催



## 1年前記念イベント



ブナやユキツバキなど 200 本が植えられ、植樹後には木工教室が行われ、木製プランターカバーや屋台などが作られました。

北陸新幹線飯山駅開業と、全国植樹祭の関連行事として飯山市文化交流館「なちゅら」で行われる「第45回全国林業後継者大会」の開催を記念して、飯山駅南口植樹祭が開催され、当組合の職員がスタッフとして参加しました。



当日は、朝から雨が降っていましたが、たいへん大勢の方が参加し、盛大な記念イベントとなりました。

## 苗木のホームステイを実施

平成 28 年度に開催される全国植樹祭で植樹する苗木を、長野県から預かり、「マユミ」120 本を本所で管理しました。

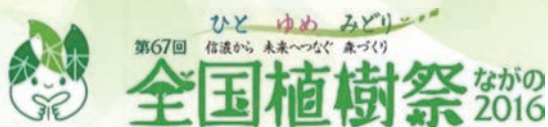
苗木が届いてから、毎日、職員が交代で水やりをしたりして、管理を行いました。





●平成28年度（2016年度）

第67回全国植樹祭 開催



長野県で52年ぶりとなる全国植樹祭が開催されました。県民植樹祭が県下10ヶ所で行われ、6月に長野市のエムウエーブで、私たちに様々な恵みを与えてくれる森林を県民が協働して守り、活かし、未来に引き継いでいくことを全国に発信する場として、天皇、皇后両陛下のご臨席を賜わり、記念式典が開催されました。



天皇皇后両陛下によるお手播き

全国植樹祭への天皇陛下の行幸啓を記念し、植樹祭の感動と意義を後世に永く伝えるために御製碑が建立されました。



式典と記念植樹に参加された組合役員の皆さん



記念式典アトラクションでは、山ノ内町のABMORIで森林づくりを行っている歌舞伎俳優の市川海老蔵さんが、勸進帳の「延年の舞」を披露されました。

主な出来事

■北信州森林組合

- 4月 総代会
- 新系統運動『森林・林業・山村未来創造運動』がスタート
- 4月 イラン国から研修視察
- 5月 韓国から研修視察
- 5月 香港留學生との共同研究
- 8月 林野庁沖次長視察
- 11月 JANAがのみゆき支所開催の「ビビット祭」に出店（飯山市）
- 12月 革新的技術開発・緊急展開事業コンソーシアム設立と覚書調印式
- 12月 臨時総代会
- 12月 物産センター「ねんりん」閉店
- 3月 物産センター「ねんりん」運営を野沢温泉村に返還
- 3月 革新的技術開発・緊急展開事業バックパッカーレーザー計測装置による現地調査
- 3月 ハーベスタのシミュレーターによる操縦研修会



梓



**北信州植樹祭 開催 ～全国植樹祭県民植樹として開催～**



5月21日に飯山市「菜の花公園」と「上野の森」を会場に、北信州植樹祭が、第67回全国植樹祭県民植樹として開催されました。

北信州植樹祭は、北信地域における健全な森林づくりと、緑豊かな環境整備を進め、潤いのある郷土づくりを推進することを目的に、毎年管内市町村で開催されているものです。

植樹指導を行う当組合のウエルンジャーも、バージョンアップした姿で、子供達にもわかりやすく、植え方の紹介をしていました。



ヤエベニシダレザクラやユキツバキなどが植栽され、当組合が苗木のホームステイで育成していたマユミも植えられました。



来賓と主催者の皆さん

**主な出来事**

■国内

- 4月 熊本地震、死者150人超
- 5月 伊勢志摩サミット開催
- 5月 米国オバマ大統領、歴史的な広島訪問
- 6月 消費増税、再延期
- 7月 相模原、障害者施設で19人殺害
- 8月 「山の日」新たに祝日に
- 8月 天皇陛下、退位の意向示唆
- 8月 リオ五輪、過去最多41メダル
- 12月 安倍首相、真珠湾慰霊へ
- 12月 日口、北方四島で共同経済活動へ

■地域

- 9月 新「JAながの」発足
- 11月 池田茂中野市長（2選）
- 3月 富井俊雄野沢温泉村長（3選）

■森林・林業関係

- 6月 第45回全国林業後継者大会開催（飯山市）
- 6月 第67回全国植樹祭開催（長野市）
- 8月 第1回「山の日」記念全国大会開催（松本・上高地）



●平成28年度（2016年度）

第45回全国林業後継者大会 開催



開会式典



飯山市文化交流館「なちゆら」



大ホール



駐車場で行われた林業機械展

会場では様々な催しが行われ、駐車場で協賛した林業関係企業14社の機械・器具の展示と、下高井農林高校や長野県森林組合連合会などの物販が行われました。

全国植樹祭の関連行事として、全国林業後継者大会が6月4日に飯山市文化交流館「なちゆら」で開催されました。来賓に今井林野庁長官を迎え、中島長野県副知事、足立飯山市市長ほか関係者が出席し、開会式典が行われました。

当組合の田中総務課長が長野県実行委員会会長を務めました。

大会は、全国の林業後継者が一堂に会し、森林を育む担い手として果たす役割について意見を交わしました。健全な森林を持続的に育成し、豊かな社会を築くことを全国に発信する目的で開催されました。



堀澤業務課長の発表



当組合の職員がスタッフとして参加しました



当組合とアジア航測などの展示ブース



芝生広場



**革新的技術開発・緊急展開事業**



スマート精密林業技術の開発に関する覚書調印式

レーザー計測研究で世界No.1であるフィンランドのユハ・ヒッパ教授により、当組合の間伐地である山ノ内町佐野角間において、現地調査が行われました。



バックパックレーザー計測装置による現地調査

**林野庁 沖次長視察**

8月5日に林野庁の沖次長が当組合を視察されました。

当組合の森林GISについて、その情報（森林境界明確化データや森林資源データなど）の把握や管理、活用について説明しました。

また、現在施工中の現場で、その活用状況などを紹介し、最後に赤坂中間土場を視察されました。

当組合の取組みについて好評価をいただきました。



沖次長

**雑誌『現代林業』に特集掲載**



『現代林業』2017年1月号で、当組合の田中総務課長、堀澤業務課長と東大の酒井秀夫教授と日本のロジスティクスの第一人者の椎野潤先生の意見交換をもとに特集されました。



●平成29年度（2017年度）

日本で初めて『国際ウッドフェア』長野で開催

「次世代林業」実現に向けたノウハウ習得の機会を創出する専門展示会『国際ウッドフェア2017』が5月に長野市のビッグハットで開催されました。

林業先進国オーストリアの大使館商務部をはじめ、「林業県」をめざす長野県が協力して初の開催となりました。国内外からの林業機械や木質バイオマス関係の最新の製品・技術から、大学などの取組みまで展示され、また、ICTやドローン、レーザーセンシングを利活用する次世代林業などが紹介されました。



『国際ウッドフェア2017』の当組合ブースに来られた中島副知事に ITC 活用などについて説明

革新的技術開発・緊急展開事業

革新的技術開発・緊急展開事業『レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発』は、平成28年度から3ヶ年行われ、当組合は、現場運用システム、収穫と素材生産技術の開発・実践などを担当しました。10月に管内実証地で現地検討会が開催され、IoTハーベスタやドローンレーザー空撮による研究成果が公開されました。



農林水産業みらい基金助成事業

情報通信技術の活用推進で、管理コストの縮減に資するソフト開発を主軸とし、作業日報や木材販売の集計など、インターネットを活用した情報管理による効率化を目標に鋭意開発を進めました。

日報管理

システム⇒作業工数集計など管理コストを縮減するとともに、コスト分析の時間短縮により作業効率の向上につなげます。



主な出来事

■北信州森林組合

- 4月 各支所で行っていた組合員事務を本所に統合
- 4月 総代会
- 4月 14名の新役員選任
- 5月 総代・参与委員・連絡員就任
- 5月 中野市役所新庁舎建設用材を搬出
- 6月 安全大会
- 6月 技能職員を対象に救急救命講習を実施
- 6月 森林組合経営改善支援委員会による経営診断を実施
- 7月 役員セミナー
- 7月 「経営診断の結果を踏まえて」「創森館」外壁木部の塗装
- 7月 役員コンプライアンス研修会実施
- 10月 北信州森林祭（山ノ内町）
- 11月 JANAがのみゆき支所開催の「ビビット祭」に出店（飯山市）





### 中野市役所新庁舎建設用材を生産



中野市と高社山四区共有林から委託を受け、当組合が森林経営計画を作成した、四区共有林にある中野市行造林地内7haのカラマツ林で搬出間伐を行いました。

これは中野市役所の新庁舎建設に中野市産材を使用することから、四区共有林のカラマツに白羽の矢が立ち、当組合が協力して経営計画の樹立から間伐事業までを行ったものです。

四区共有林のカラマツは昭和27年に植えられたもので、これまで間伐を繰り返し行うなど適正な管理がされており、たいへんすばらしい木材が生産されています。

### 森林組合経営改善支援委員会による経営診断を実施

森林組合経営改善支援委員会は、経営上の課題を解決して自立的経営に転換し、林業の中核的な担い手としての役割を果たすことができるよう、経営などの第一人者による経営診断及び改善指導を実施するものです。当組合では、6月に経営診断のための面談が役職員に対し行われました。



### ～経営診断の結果を踏まえて～

北信州森林組合役職員セミナーが行われました。「業務体制、事業運営体制などが優れている。境界明確化やICTの取組みは、高く評価されるべき。長野県の先進モデル的森林組合になって欲しい。今後の地域における森林管理の流れに沿った取組みをしている。しかし、経営体として継続的な健全経営も重要」との講評をいただきました。



組合会議室で行われた役職員セミナー

### 主な出来事

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p>10月 「スマート精密林業技術」<br/>現地検討会を開催</p> <p>6月 ふるさとの森づくり県民の集い<br/>(第68回長野県植樹祭)(長和町)<br/>林フォーラム開催</p> <p>5月 国際ウッドフェア長野で開催<br/>長野県セミナーの一環として森<br/>林フォーラム開催</p> <p>4月 北信地方事務所から北信地域振<br/>興局へ名称変更</p> | <p>■森林・林業関係</p> <p>3月 小林東一郎県議副議長就任</p> | <p>■国内</p> <p>4月 体操の内村航平、全日本選手権<br/>10連覇</p> <p>6月 将棋の藤井聡太四段が29連勝</p> <p>6月 「共謀罪」法が成立</p> <p>7月 九州北部豪雨で死者・不明41人</p> <p>8月 森友・加計・日報、政権を揺るがす</p> <p>9月 陸上1000m 桐生祥秀、つい<br/>に9秒台</p> <p>10月 電通に有罪、働き方改革へ機運</p> <p>10月 衆議院で自民大勝、民進が分裂</p> <p>1月 群馬、草津町の草津白根山が噴火</p> |
|---|--|---|



●平成30年度（2018年度）

**長野県消防団協力事業所知事表彰受賞**

駒ヶ根市の「アイバル」において長野県消防団協力事業所知事表彰の表彰式が行われました。県下で12事業所が受賞しました。

当組合では、当時16人の職員が消防団に加入しており、火災での消火活動や河川増水時の監視活動などの消防団出動に対して、特別休暇制度を設けており、地域の消防活動に協力しています。

また、岳南広域消防本部と山林火災等における消防団活動の支援に関する協定を結んで、当組合が持つGPSやGISデータなどを活用して、山林火災での現場特定や被災量などの特定に協力しています。



アイバルで行われた表彰式



滝沢利用事業室長・中山組合長・宮崎前山ノ内町消防団長（木島平村消防団長）

**赤坂林産事業所に軽油地下タンク設置  
タンクローリー購入**



7月、赤坂林産事業所に2万リットルの自家用給油所を設置しました。大量購入することで安価な売買契約をしています。冬季の除雪事業にも有効活用するため、11月タンクローリーを購入しました。

主な出来事

**林業関係広報コンクール 受賞**



第52回林業関係広報コンクールにおいて、ホームページ部門の優秀賞を受賞しました。

■北信州森林組合

- 11月 森林の里親促進事業
- 11月 (株)テレビ信州・中野市四区共有林運営委員会契約
- 12月 里山整備利用地域認定
- 12月 飯山市 小境・鷹落山麓里山整備利用推進協議会
- 3月 里山整備利用地域認定
- 3月 中野市 高社山四区里山整備利用推進協議会
- 4月 総代会
- 6月 北信州森林祭（野沢温泉村）
- 6月 安全大会
- 7月 役員視察研修
- 7月 (栃木県那須郡那珂川町) JAながのみゆき支所開催の「ビビット祭」に出店（飯山市）



### チェーンソー取扱作業の安全研修を実施

安全意識を高めるための地道な活動として、①指差し呼称、②危険予知(KYT) (TBM)活動、③ヒヤリ・ハット活動、④安全衛生改善提案活動のほか、チェーンソーの整備について指導を受け、その後、伐倒作業後の現場で『伐倒作業の安全について』切り株や伐倒木を確認しながら指導を受けました。

受口の形状や、追口の位置、ツルの残し具合など重点的に指導を受け、参加者も真剣な面持ちで受講していました。



### ロープ高所作業(樹上作業)特別教育を開催



(一社)長野県林業普及協会主催で、ロープ高所作業(樹上作業)特別教育が、当組合と近くの山林を会場に開催されました。

ロープを使った高所作業については、労働安全衛生規則が改正されました。高さが2メートル以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいて、昇降器具を用いて身体を保持しつつ行う作業に係る業務が加わりました。当組合で行っている安全帯とロープによる作業がその対象となります。

### 新たな安全衛生委員会を設置

7月の衛生委員会に合わせて、産業医による衛生巡視を実施しました。各事務所を回り事務所内の作業環境や作業管理、勤務体制、労働衛生対策など確認して意見をいただきました。



### 主な出来事

■森林・林業関係

4月 第3期森林づくり県民税を活用した取組みがスタート

6月 ふるさとの森づくり県民の集い(第69回長野県植樹祭)(売木村)

■地域

8月 阿部守一長野県知事(3選)

10月 足立正則飯山市長(3選)

2月 竹節義孝山ノ内町長(4選)

2月 日基正博木島平村長(2選)

2月 小惑星リュウグウに着陸成功

11月 安倍首相、「2島先行返還」に舵(北方領土)

10月 東京中央区の築地市場が83年の歴史に幕

10月 京大特別教授本庶佑氏、ノーベル医学生理学賞

9・1月 テニスの大坂なおみ全米、全豪オープン優勝

■国内

4月 陸自「イラク日報」見つかり公表

6月 成人年齢は18歳、改正民法成立

6月 財務省が森友文書改ざんを公表

6・9月 西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ

7月 埼玉県熊谷で観測史上国内最高41・1度記録



●平成31年度・令和元年度（2019年度）

北信州森林祭

（天皇陛下御即位記念植樹）開催

北信州森林祭が6月15日に、中野市間山の晋平の里温泉公園「ぼんぼこの湯」周辺の山林等を会場に開催されました。天皇陛下御即位記念植樹ということもあり、植樹指導は長野県林業士の職員2名が行いました。

植栽木も天皇陛下のお印の「あずさ」と皇后陛下のお印の「ハマナス」、そして記念樹として「八重桜」が植えられました。



主催者・来賓と日野小と永田小みどりの少年団の皆さん



天皇陛下のお印「あずさ」の植栽の様子



皇后陛下のお印「ハマナス」の植栽の様子

伐木造材作業特別教育補講を開催

伐木等作業に係る安全衛生規則の一部を改正する厚生労働省令が公布されました。これに伴い当組合の伐木造材作業等の特別教育修了者と、協力事業体の修了者を対象に、法令に従い補講を開催しました。



主な出来事

■北信州森林組合

- 4月 総代会
- 6月 北信州森林祭（中野市）
- 6月 安全大会
- 7月 中野市の北信濃ふるさとの森文化公園ウッドデッキ設置
- 8月 子どもの居場所木質空間整備事業
- 8月 「次世代森林産業展2019」開催
- 8月 里山整備利用地域認定
- 8月 山ノ内町 湯田中地区里山整備利用推進協議会
- 3月 里山整備利用地域認定
- 中野市 篠井・北大熊里山整備利用推進協議会
- 飯山市 関沢里山整備利用推進協議会
- 10月 役員コンプライアンス研修会
- 1月 伐木造材作業特別教育補講を開催



ハマナス



### 中野市統合小学校用の昇降口下駄箱を納品

中野市教育委員会から昇降口用の木製下駄箱を受注し8月に納品しました。この下駄箱は、地域の木材で製作したもので、統合後の児童440人が使用するものです。夏休みを利用して、既存のスチール下駄箱の撤去から新品の設置までを行いました。



枠組みの出来た下駄箱に板を張る作業と塗装を児童とPTA、地域関係者等230名が参加して行いました。

テレビ信州では2日間のイベントを撮影し、「24時間テレビ」の中で紹介していただきました。



24時間テレビ 信州の「人と人」里山をつなぐ

### 中野市 北信濃ふるさとの森文化公園に ウッドデッキを設置



中野市長嶺丘陵にある『北信濃ふるさとの森文化公園』から依頼を受けて、展望テラス用にスギの間伐材を加工してウッドデッキを製作し設置しました。また、間伐材のベンチも合わせて設置しました。

### 台風19号により甚大な被害発生



本所近く 氾濫の状況

10月に日本に上陸した台風19号により、各地で記録的な大雨となり、甚大な被害となりました。当組合の施業地でも林道の崩落や土砂崩れなど多くの被害が発生しました。

### 主な出来事

6月 長野朝日放送(株)・(財)和合会契約  
森林の里親促進事業

6月 ふるさとの森づくり県民の集い  
(第70回長野県植樹祭(木曾町))

4月 「森林経営管理制度」導入

#### ■森林・林業関係

12月 木島平村役場庁舎完成

10月 台風19号、小布施、中野、飯山  
で大災害発生

8月 飯山高校、甲子園初出場、  
三千五百人の応援団

4月 県議会議員宮本衛司氏(5選)、  
丸山栄一氏(4選)、  
小林東一郎氏(4選)

#### ■地域

3月 東京五輪、パラリンピック1年延期

10月 消費税10%に、軽減税率導入

10月 沖縄・首里城火災、正殿など焼失

9月 ラグビーW杯で列島熱狂・日本8強

8月 ゴルフ渋野日向子が全英女子制覇

7月 仁徳天皇陵など大阪の古墳群が  
世界遺産に

7月 京アニ放火殺人36人死亡

6月 主要20か国・地域首脳会議  
(G20) 日本初開催

#### ■国内

5月 天皇陛下が即位され、令和の時代へ



令和2年度（2020年度）

再造林推進コンクールで優秀賞受賞

林野庁が行う、令和2年度国有林間伐・再造林推進コンクールで当組合が優秀賞を受賞しました。

国有林間伐・再造林推進コンクールは、国有林野事業で実施した間伐、主伐・再造林及び立木販売において、法令の遵守、安全の確保及び担い手の育成に積極的に取り組むとともに、高い生産性等を達成した優れた事例について表彰されるものです。

また、中部森林管理局の令和元年度生産性向上実現プログラムで中部森林管理局長特別賞を受賞しました。



長野県 SDGs 推進企業に登録



登録証交付式

長野県 SDGs 推進企業登録制度は、県内企業等がSDGsと企業活動との関連について「気付き」を得るとともに、具体的なアクションを進める「登録」制度です。

当組合では、4月からの第5期登録に申請し登録となりました。



中野市豊田小学校・中学校に  
下駄箱を納品

中野市豊田地区の豊井小学校と永田小学校の統合により建設される豊田小学校と、併せて整備される豊田中学校に、木製下駄箱を納品しました。地元の豊田地区南永江の山林より搬出した間伐材を使用して製作しました。



主な出来事

- 4月 総代会  
新役員選任  
清水侃組合長就任
- 4月 長野県SDGs推進企業に登録  
総代・参与委員・連絡員就任
- 5月 中野市高社山四区共有林が林野  
庁長官賞を受賞
- 8月 長野県SDGs推進企業登録証  
交付式
- 10月 林業労働災害撲滅キャンペーン  
労働安全衛生活動の事例発表  
飯山庁舎（利用事業室）屋根改  
修工事（新たにスノーガード設  
置）
- 11月

■北信州森林組合



アジサイ



### 消防団等地域活動表彰の事業所表彰



伝達式  
湯本中野市長より



総務省消防庁の令和2年度消防団等地域活動表彰の事業所表彰において当組合の表彰が2月22日に決定されました。2年度は全国で20事業所が表彰されました。

当組合では、災害発生時は業務中であっても消防団活動に参加できるように配慮するとともに、災害活動のため出勤不能となった場合には特別休暇に認定できるよう社内規則で定めていること、業務で使用しているGPSを使い、山林等で発生した災害においては、位置の特定、ルート把握などの活動支援を行い地域消防力の向上に努めていることなどが評価されました。

### 飯山庁舎の屋根改修工事

利用事業室が入り業務を行っています飯山庁舎の屋根の改修工事を行いました。屋根全面のトタン葺き、雪止めアングル設置、落雪防止器具設置、新しい屋根の装備としてスノーガード（振動式雪庇止）を設置しました。



### 4tセルフクレーン付トラック更新



ミニバックホーや自走式チッパーなどの移送や、薪原木、杭木、細木の販売で4tトラックを使用しています。

経年劣化がひどく、毎年修繕をしながら使用を続けていましたが、希望に見合う中古車の紹介があり更新することができました。

利用事業や販売事業で活躍しています。

### 主な出来事

#### ■国内

- 4月 新型コロナ猛威、初の緊急事態宣言
- 6月 「あおり運転罪」創設
- 7月 九州で豪雨、死者75人
- 8月 将棋の藤井聡太さん最年少二冠
- 9月 安倍首相が退陣、後任に菅氏
- 10月 「鬼滅の刃」大ヒット 映画公開
- 11月 スパコン「富岳」、世界一
- 2月 新型コロナウイルスワクチン接種開始
- この年 全国高校野球大会春・夏中止

#### ■地域

- 11月 湯本隆英中野市長、初当選
- 3月 宮本衛司県議議長就任
- 3月 富井俊雄野沢温泉村長（4選）

#### ■森林・林業関係

- 4月 ふるさと森づくり県民の集い（第71回長野県植樹祭）（栄村）の開催延期
- 5月 森林組合法改正
- 5月 第71回全国植樹祭（島根県大田市）の開催延期
- 6月 第44回全国育樹祭（北海道苫小牧市）の開催延期



令和3年度 (2021年度)

高社中学校のSDGs教育を支援

中野市立高社中学校3年生を対象にSDGs教育の支援を行いました。

SDGsと森林組合の取組みについて講演を行い、その後「生徒達自ら木を伐採し、その木から何かを作って社会貢献したい」との要望があり、指導を行いました。

5月に高社山四区共有林の協力により、胸高直径40cmを超える大きなアカマツの立木をマサカリと大ノコギリで伐採し、6月にはその製材工程を見学しました。7月に製材した板からカレンダー、まな板などの木工品を、8月には角材からベンチを作りました。ベンチ作りの様子はテレビ放映されました。



田中参事による講演



角材から部材を切出しベンチを製作



中野市にベンチを寄贈



高社中学校に植栽

完成したベンチは、学校祭で展示後、中野市に寄贈され、市ではリノベーションする市民会館に設置する予定とのことです。

木工品をPTAなどに販売した売上で、サクラの苗木4本を購入いただきました。その内の2本は高社小学校に贈られ、12月、組合職員の指導により生徒達が苗木を植栽しました。残りの2本は中学校の校庭に植えられ、これにより、伐採、製材、製品を作り、販売し、その売上で木を植えるという、生徒達が希望したSDGsの取組みが完結しました。

※高社中学校のSDGsの取組みは、信州SDGsアワード2021で長野県知事賞を受賞しました。

主な出来事

広報誌「むささび」  
林業関係広報コンクール 受賞



第54回林業関係広報コンクールにおいて、広報誌部門の奨励賞を受賞しました。

- 6月 林業関係広報コンクール 奨励賞受賞
- 6月 設立20周年記念事業検討委員会 スタート
- 6月 安全大会
- 4月 ス講習会
- 4月 ワイヤロープのアイズプライ
- 4月 総代会

■北信州森林組合

- 10月 第44回全国育樹祭 (北海道苫小牧市) 開催
- 6月 ふるさとの森づくり県民の集い (第71回長野県植樹祭) (栄村)

■森林・林業関係

- 5月 第71回全国植樹祭 (島根県大田市) 開催

### 松本広域森林組合との事業連携



松本広域森林組合から、冬季事業に移行する11月12月に、樹種転換事業を請負うこととなりました。中信地区では、松枯れ被害が広範囲にあり、また、労働力や重機などの課題もあり、松枯れ被害対策事業の遂行に苦慮されている状況です。

当組合では、積雪により森林整備事業に入れない、春先や冬季事業への移行期間での協力が可能であるということで、長野県森林組合連合会などを通じて、松本広域森林組合との事業連携を始めました。

このことにより、従来事業が手薄となる時期に、無駄なく作業ができ、高性能林業機械の稼働時間も増えることから、組合運営にとっても、たいへん良好な結果となりました。

遠方への通勤となるため、運転を行う者の健康状況など配慮しながら、安全な作業が行えるよう心がけました。

### 中野市高社山四区共有林と

#### 山ノ内町湯田中地区で安全作業指導

当組合では、高社山四区里山整備利用推進協議会と、湯田中地区里山整備利用推進協議会の依頼で、毎年刈払作業と伐採作業の安全指導を行っています。

当年も刈払作業における安全講習会の講師を派遣し、安全作業の指導を行い、その後伐採作業の技術指導を行いました。

皆さん熱心に講習を受けていただいております。これまでケガもなく作業をされています。



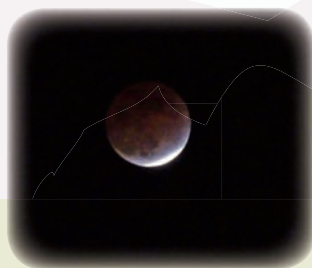
高社山四区里山整備利用推進協議会



湯田中地区里山整備利用推進協議会

### 主な出来事

- 地域
- 5月 新型コロナ医療従事者以外にもワクチン接種始まる
- 2月 御嶽海、県民栄誉賞
- この年 木島平村根塚遺跡から朝鮮半島の「三韓土器」を確認



- 国内
- 4月 プロゴルフ松山英樹選手マスタースズで優勝
- 7月 東京五輪、日本は史上最多58個のメダル
- 10月 岸田内閣発足
- 11月 大谷翔平選手、メジャーMVPに
- 11月 皆既に近い部分月食観測
- 1月 大相撲初場所御嶽海3回目の優勝、大関昇進
- 2月 将棋の藤井聡太四冠、最年少五冠に



# 森林組合の変遷

森林組合は明治40年に森林法が改正され、同法に組込まれたことから始まります。

この法律では、森林組合設立の目的を「第62条 森林組合は左の各号の一に該当する場合に於て必要なる事業を為す為一定の地区を限り之を設立することを得 / 一 国土保安の為又は森林の荒廃を防止し若は荒廃せる森林を回復する為必要るとき 二 森林が所有者を異にし協同して施業を為すに非ざれば其の利用の目的を達するに困難なるとき 三 森林産物の運搬に必要な工事を為し又は之を維持する為関係者の協同を必要とするとき 四 森林の危害防止に付関係者の協同を必要とするとき」とされました。この時、法律で社団法人とされました。

この法律に基づく森林組合の設立は、大正8年の森林組合一覧では長野県で5組合だけで、当管内では下高井郡穂波村（現山ノ内町）の佐野施業森林組合（組合員47人）だけでした。

宮城		長野			
名	事務所位置	目	地	事	年
佐野施業森林組合	○村下六六字非田穂波一	日林業的利用	一一九六一	立地造林、立木及産物運搬、防風、土壌改良	大正七年十月一日
合八郎施業森林組合	正村南院大字八郎八	以林業的利用	一〇三、八九〇〇	立木及産物運搬、防風、土壌改良	大正六年十一月一日
林大組施業森林組合	大城半田大字一尾六村	同右	一〇〇四一八	立木及産物運搬、防風、土壌改良	大正三年一月一日
御幸野施業森林組合	一宮七郎北山村	日林業的利用	一〇三、六一三、一五	立地造林、立木及産物運搬、防風、土壌改良	大正元年二月一日

森林組合一覧 大正8年4月末日 国立国会図書館デジタルコレクションより

昭和14年に森林法が改正され、森林組合の設立目的は「第62条 森林組合は組合員の所有する森林に付自ら施業を為し又は組合員の施業を調整し以て森林生産の保護を図るを以て目的とす / 組合は前項の目的を達する為定款の定むる所に依り左の各号の一の事業を行う / 一 組合員の所有する森林に付施業案を編成し之に基き施業を為すこと 二 組合員の為に施業案を編成し之に基き組合員の為す施業を調整し及地区内森林の施業に必要な共同施設を為すこと」と改正されました。また、更に追加された条文では「第66条の2 地方長官森林生産の保護を図る為特に必要ありと認むるときは命令の定むる所に依り地区を指定し組合員たる資格を有する者に対し森林組合の設立を命ずることを得」とあります。

昭和12年から始まった日中戦争による木材需要に対応するため、国策として森林組合を全国各地に設立させて木材の増産を行うために法律が作られたと思われます。

特に地方長官（県知事）が設立を命令できる条項までつくられたことから、対象となった市町村に森林組合が作られました。

この時つくられた森林組合が、現在の組合の元となっています。

昭和26年に森林法が改正され、現在の森林組合の原型となる条項がつくられました。それまでの森林組合は、行政の下部組織的位置付けでしたが、この法改正により協同組合としての位置付けとなりました。

そして昭和53年に森林法から独立した森林組合法がつけられ、現在に至っています。